

# 度会カフェリョクプロジェクト

メンバー数：7名 活動場所：度会町  
 実施主体：度会町役場  
 担当教員：藤井 恭子（現代日本社会学部）  
 活動年度：H28, H29, H30

- ・伊勢市民活動フェスティバルでの和紅茶販売（予定）
- ・mamika（マミカ）さんに訪問、打合せ
- ・マイカフェさんに訪問、打合せ
- ・第二回お茶の香り会議開催
- ・皇学館サービス訪問、打合せ
- ・中野先生グループ制作「川紀田煙」の宣伝イラスト完成
- ・新春和紅茶紅白パッケージ完成
- ・度会町喜多製茶さんに訪問、打合せ
- ・第一回お茶の香り会議開催
- ・皇学館サービス訪問、打合せ
- ・度会町役場の方々の打合せ
- ・第二回女性企業セミナーでの和紅茶呈茶、販売
- ・メンバー内和紅茶勉強会を開催
- ・お茶まちカレシ宇治での和紅茶販売、試飲提供
- ・中野先生グループ制作「川紀田煙」とのコラボによる和紅茶PR活動についての打合せ
- ・全国高校生のSB交流フェア「夜の市」での和紅茶販売、試飲提供
- ・全国まちづくりカレッジ3空知での和紅茶販売
- ・『宇治山田の和紅茶』新パッケージ完成
- ・マイカフェさんに訪問、打合せ
- ・木下茶園さんに訪問、打合せ
- ・度会町中森製茶さんでの茶摘み体験に参加

2018



## ◆今年度の活動を振り返って（成果と課題）

**度会カフェリョクプロジェクト**は、現在三年目の活動を行っている。今年度は茶摘体験や、度会町のお茶農家さんや町職員の方々との話し合いを通して、伊勢茶を使用した新商品開発に向けたアイデアシェアリング、試作等をさせて頂いた。また今年度からは「地域社会研究会」プロデュースの「宇治山田の和紅茶」の茶葉を松阪産から度会町産に変更するなど連携を深めた。SBP交流フェアなどのイベントでは、訪れた人に和紅茶を試飲して頂き全国の人に伊勢茶を知って頂くことができた。例年年間約150個の売り上げが今年の夏から新パッケージにしたこともあり、この日だけで53個の売り上げがあった。年間では333個売り上げることができ、約2倍になった。これらの活動をしている際にお客さんに和紅茶や伊勢茶について質問され答えられないことがあった。それをきっかけに自分たちがお茶についての知識が不足していることに気づき自分たちの和紅茶や伊勢茶に関する知識を深めることに繋がった。

また、度会町さんと伊勢茶の魅力を、飲む以外の方法で発信するために、香りを活かした商品を企画するプロジェクトが発足した。今まで4回ほど度会町さんと会議を開き、アロマディフューザーを使用した実験や茶葉そのものの香りを比較するなど精力的に取り組んだ。お茶とフルーツ、緑茶と和紅茶というように、組み合わせを工夫することで香りが変化することが分かった。これからはこれらの実験を通してアロマキャンドルや香り袋の商品化をすることを目指す。

この一年で活動の幅が大きく広がり、様々なつながりも増えた。今年度中に実現できなかったプロジェクトや目標があり、来年度以降も今年以上のさらなる成長と成果を目指して、熱意をもって取り組んでいきたいと思う。

## 特にアピールしたいポイント

- ・伊勢茶の魅力を伝えることができるように活動していること。
- ・新商品開発に携わり、アピールできる機会が増えるようにメンバー一同努力していること。
- ・伊勢茶の企画・開発を通して、地域貢献をしていること。



## ○実施主体様の声○

伊勢茶のPR活動に取り組むにあたり、伊勢茶に幅広く関わってほしいとの考えから生産過程の見学や伊勢茶を用いた商品開発等を実施した。今後も伊勢茶の可能性を様々な視点から発信してもらいたい。

